

ZOOMによるオンライン講演



演題 これからの美術教育を考える

— 答申(令和3年1月26日)からみた美術教育 —

子供たちを取り巻く環境は大きく変化しようとしています。社会の在り方が劇的に変わるSociety5.0時代が到来しつつあり、社会の変化が加速度を増す中、新型コロナウイルス感染拡大などから先行き不透明で、予測困難な状況になってきているのではないのでしょうか。

中央教育審議会答申(令和3年1月26日)では、この社会の急激な変化の中で再認識された学校の役割や課題を踏まえ、2020年代を通じて実現を目指す学校教育のビジョンが示されています。この答申と新学習指導要領の内容から「社会に開かれた教育課程」の実現、カリキュラムマネジメントの充実、ICTの活用などを取り上げながら、子供たちの資質・能力を確実に育成するために、我々はどのような美術の授業づくりをしていけばよいのかを考えてみたいと思います。



□ 平田朝一氏のプロフィール

1970年 岡山市生まれ
1994年 岡山大学教育学部特別教科
＜美術・工芸＞教員養成課程卒業
岡山県立中学校教諭
2003年 岡山大学大学院教育学研究科修了
(岡山県派遣)
2012年 岡山県総合教育センター
教科教育部指導主事
2017年 平成29年学習指導要領等の改善に係
る検討に必要な専門的作業等協力者
2019年 令和元年評価規準、評価方法等の工夫
改善に関する調査研究協力者
2020年 岡山県立中学校指導教諭
2021年 現職

□日時 2021(令和3)年 **12月19日(日)**
14:30開場/15:00開会~17:00予定

□場所 ZOOM会場 [事前申込 定員100名]

□講師 **平田朝一氏**
文化庁参事官(芸術文化担当)付 教科調査官
文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官

□参加 10月31日(日)までは「会員」優先で受付ます。
以後先着順で、日本美術教育連合の会員でなくても受付ます。
【重要】申込に際し、著作権保護の観点から「録画・録音・撮影
等を行わない誓約」を必須でお願いいたします。

□運営 美術教育連携交流委員会
山口喜雄(元宇都宮大学教授)
橋本光明(すみだ北斎美術館館長)
長田謙一(首都大学東京客員教授)

□連絡先 nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp 山口喜雄

□主催 公益社団法人日本美術教育連合

[顔写真・リード文・図柄は平田氏提供、図柄は講演の内容とは関係ありません]

事前申込みが必要です！ 参加費無料



※ 詳細は、日本美術教育連合の公式ホームページを必ずご確認ください。

→ <https://insea-in-japan.or.jp/index.html>

※ お申込は、〈こくちーず〉からお願いいたします。→ <https://kokucheese.com/event/index/615984/>

